

有限会社釣巻印刷所代表取締役

いわき市平字十五町目20番地 1 ☎0246(22)1331(代)

10,000年前の

人口希薄で少なかつた集落

縄文 山地に多かつた遺跡

自然の中で採取・狩猟生活

縄文時代創期の遺跡は、後述するように規模も数少くない。人口が希薄だから集落も非常に少なかつたといふのが正しいのではないかと思われ、いわき市内の古い遺跡としては、大畑をはじめ窪田稲荷遺跡、川前町手島遺跡、小川町根本遺跡、好間町神小遺跡、内郷町金坂遺跡、小浜町西の作遺跡、それに平野町、弘前町、貝家等々がある。これらの遺跡は八千年前から五千年前まで続いている。

恐らく一万年前と云えば、いわきでも未調査であるから、なんとも言えないが、あるいはこれから新しく発見され、資料を得られる可能性も残されている。

そこで一つの推測を試みることにしよう。一万年乃至八千年前にいわきに住んでいたのは何人の人数であつたらうか。それは原始人の食糧にあつてゐる必要がある。貝家からシカ、イノシシ、テン、キツネ、タヌキ、ムササビの自然遺物(動物遺体)が出てくることをみると、木の葉や根も採食していたらうから、大畑の中心で採取・狩猟生活をしてゐたといふことができる。そこで類が自然の中で暮らす許容量を考えると人口は極端に少なく、現在の一万分の一から五千分の一と見ればどうなるか。それに幸も見逃せない食糧の供給源になつてゐたかも知れないと想像される。ところがいわきで見える限り、縄文創期の遺跡は山地が多い。海岸の遺跡が少ないという結果が出てゐる。

人口の話を続けよう。弥生時代の日本人は四百七十七万人、江戸時代になつて三千万人という数字を上げた資料もある。食糧の自給手段の発達で、人口は増えていくことを考えると、農耕を導入してい

どこからやって来た?

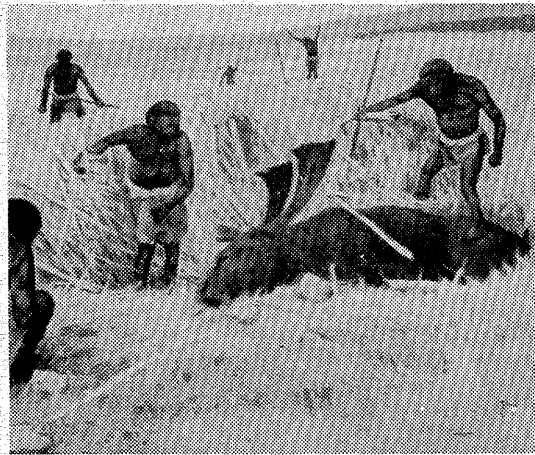
最初に住みついた人々

縄文時代創期から縄文中期にかけてのいわき地方の集落はどこへたどつて来たか、これはどうであつたらうか、ドラマチックであつたといふ。市が出してゐる資料からその解説を紹介してみよう。

縄文時代創期(一万年一八千年前)は、一年中寒かつた。日本中の火山が活発に噴動してゐる時で、富士山も大きな噴火をしてゐた時代である。この人々がたどつて来た道は、一番住みやすいところとして選んだのは、海はるかかへ見え、冷たい北風を避けて、しかも日当たりの良い台地、川に沿つた段丘であつた。そこに仮の居を建て、家族が寄り添つて暮らした。

また縄文人の生活(家族制度)の萌芽もあつたのか。夫婦間も、一夫多妻か、多夫一妻か、皆目わかつてゐない。

火は人間の生活切つても切れぬ関係にある。原始人はじめて火を知つたとき、人間と動物との区別がはつきりしたといふ。いほの暮らしの革命であつた。火の利用は旧石器時代からだが、食べ物の煮たきをはじめてから、人間らしい生活が実現しはじまつたわけである。火を生活に取り入れたのは暖かさをとり、野獣の害から



絵・船山一衛さん

身を守るか、動物の肉を焼いて食ふようになった。などが考えられる。一万年前から八千年前までの縄文創期(この火を立派に使用してゐたのである)。

いわき市泉町大畑「大畑遺跡」はいわきでも古く、八千年前ごろの遺跡ではないかといふのが定説である。この大畑付近は一度訪れると分かるように、小名浜西側、海に突き出た岬で、暖冬涼夏、山海の幸に恵まれた土地である。人類がこの地方へ足を踏み入れたとき、この生活の地に選んでも不思議はなさそうな場所だ。そのころ、シカの濃緑な自然林がうっそうと繁茂し、黒潮が海岸を洗う。茂みの中でイノシシ、シカを狩り、いまゆき海岸でコマメ貝をおもひいふに取れているように、当時の貝や海草が手懸になくさん取れたのではない。

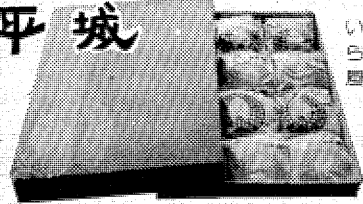
とにかく大畑遺跡から出土した「皮掻き(石のナイフ)」「石ヤリ」などの石器は、当時の人類が考案し、実用したもので貴重な資料である。そして一万年またはそれより古い時代の「旧石器時代」のいわき集落生活(石の文化)の発達(石槌・細石器の利用)が行われていたであろう。

また、飯沼川を南下する台地にある旧石器時代(属する輪山遺跡からは、当時の人が石を割つて道具を作つたのが発見されている。そのころの道具は、石の器を作る技術を持っていなかつたから、石のヤリ、ナイフなどの形をした石で作つた道具を使って狩猟や採取の生活をつづけていたのだ。縄文時代の生活をつづけていた人々の出入り口と並んで、縄文時代創期に入つて土器製作が始まり、土偶・石鏡・釣針が出現し、縄文中期、八千年前になると、尖底甕と縄文が流行した。そのころからいわきでも集落が拡大し、耳飾りや、五千年前の中期になつて植物食の比重が次第に高まつて行くのである。

贈るまごころ 贈られるまごころ

登録銘菓

平城



いわきの名城「平城」にちなんで作られた銘菓です。ソフトな味の欧風焼菓子です。

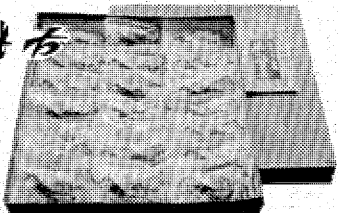
9ヶ入——700円
12ヶ入——1,000円
18ヶ入——1,500円
24ヶ入——2,000円

ふるさと銘菓

柿の種

極上質の求肥をたっぷりと練りあげ、甘い熟した柿のジャムを混ぜ合わせたあさ川の自産作です。

10ヶ入——500円
21ヶ入——1,000円



あさ川特製塩入り

水ようかん



淡泊な甘さ、やさしい口あたり、最適なあずきや、梅の風味をそのままパツクしました。

3ヶ入——450円 18ヶ入——2,900円
6ヶ入——1,000円 24ヶ入——3,800円
9ヶ入——1,500円
12ヶ入——2,000円



平 店 平・四町目 電話5755 内郷店 内郷ショッピングセンター内
駅ビル店 平ステーションビル1F 営業部 内郷宮町宮沢 電話26-2602代

しゃくなげ

お元気ですか の気持ちをこめて
爽やかにお届けする
夏の贈りもの—お中元

今年もお中元は大黒屋

先様のご意志を尊重する
受けて重宝 贈って便利



大黒屋の商品券

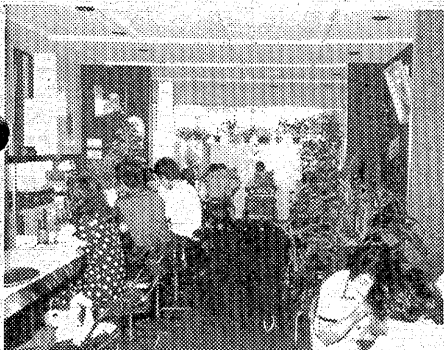


贈る人 贈られる人のコミュニティプラザ
総合ギフトセンター
5F特設会場に開設中!



しゃくなげ

紙齢10,000号をお祝い申し上げます



カレーとおにぎり自慢です

AM6:00~PM9:00(年中無休)

純喫茶 **太陽**

平・田町(並木通り) TEL.23-7779

貝焼
うにめ缶詰

生鮮珍味

◆御贈答、おみやげに
全国地方発送承ります

丸市屋

いわき市平字四町目 でんわ74-2213

回転ステージ付きの
ゴージャスな大キャバレー。



キャバレー

J-RIVER

代表取締役社長 佐藤 久住
代表取締役副社長 佐藤 安正

いわき市平・田町
(フラワービル2F)
☎23-9400~9401

総合美術

広告塔からPOPまで

屋内外総合看板
展示装飾・舞台大道具・塗装一般

株式会社

箱崎美術広告社

代表取締役 箱崎 四郎

いわき市平字十五町目2
☎74-6061

営業所一いわき市平字佃町1の9
☎22-3333代

営業種目

(自動車・板金・塗装・整備・解体)
鈴木自動車ボデー工場
☎36-4005代

(外車・国産車・新車・中古車販売)
アローモータース
☎36-5557

(ピリヤード・レストラン・貸会議室)
ニューアロー好間店
☎36-3442

(スナック・喫茶)
ニューアロー平店
☎26-7221

(マンション・アパート・貸倉庫)
不動産部
☎36-4006

有限会社 **アロー商事**

代表取締役 鈴木 康允

いわき市好間町下好間字鬼越42-3

秋の佳き日はお早めに
只今、秋のご婚礼予約受付中



総合結婚式場

報徳会館

TEL.26-2211~2213



ホットマン

ホットマン専門店
タオルファッショョン

カネヨシ

平・田町(並木通り) ☎74-4611

□浜通り唯一のタオル専門店

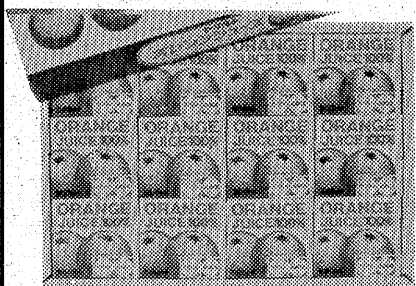
あなたのセンスで
タオルを活かしてみませんか

うなぎ **寿司徳**

・駐車場完備・二階お座敷をご利用下さい

いわき市平字才植小路
☎23-3958
☎23-3959

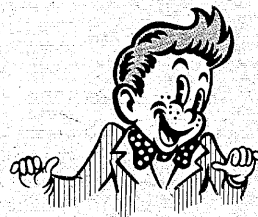
夏。100%喜ばれる贈り物。



ヤクルトオレンジジュース

株式会社 **いわきヤクルト販売**

いわき市平字渡川町4の5 ☎5111代



20カ所も充実して
価格すえ置き!

新おトクなカラオケ



TOYOTA

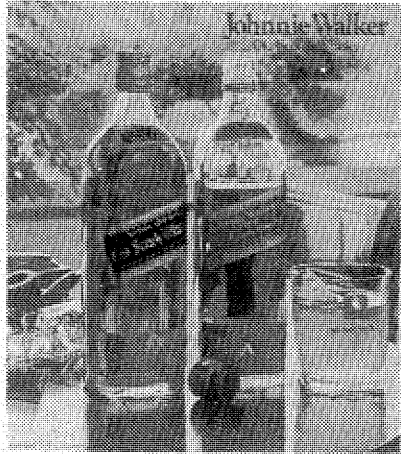
トヨタカラオケいわき

株式会社

●本社 いわき市平字堂ノ前5 ☎(平)⑥6166代
●神谷カラオケセンター
●いわき市平下神谷字馬洗12 ☎(平)⑤5220
●小名浜営業所 ●勿来営業所 ●富岡営業所
●原町営業所 ●相馬営業所

紙齢10,000号をお祝い申し上げます

紙齢10,000号おめでとうございます



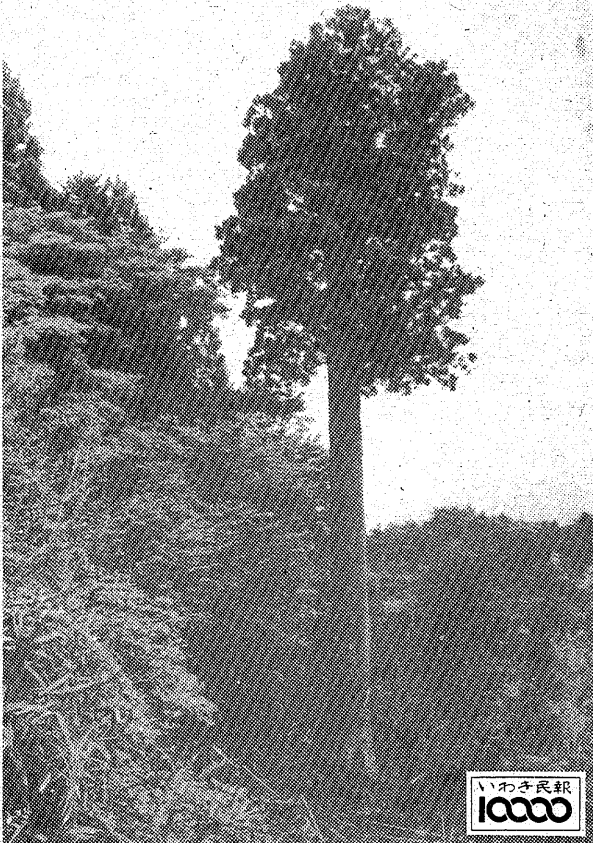
歩きつづけて一世紀半「世界の信頼」



輸入洋酒と酒・食品
酒有連チェーン加盟店

まのめ 酒店

平・田町25 電22-1211



いわき民報
10000

■紙齢10,000号おめでとうございます

販売促進企画/デザイン/総合印刷/写真撮影/ディスプレイ

●コミュニケーションを創造する



株式
会社 **イガリ印刷**

代表取締役社長 猪狩 定 芳

〒970 いわき市平字下川原65-2

☎(0246) 21-1131(代)

■紙齢1万号おめでとうございます

社会福祉法人

いわき福音協会

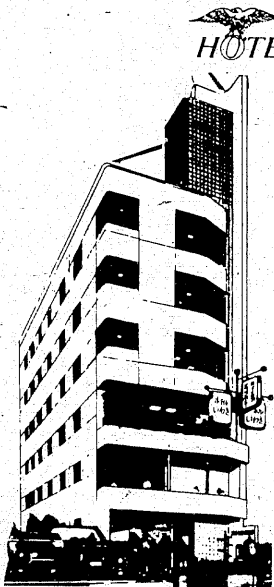
理事長 大河内 一郎

福島整肢療護園 園長 石 戸 清
いわき市平上平窪字古館1 電④8131

カ ナ ン 村 所長 鎌 倉 章
いわき市平上平窪字羽黒40 電③8611

福島県はまなす荘 所長 大 平 年
いわき市平中平窪字二堂田2 電③8711

小 島 保 育 園 園長 渡 辺 芳 恵
いわき市内郷小島町作田4 電⑥3724



HOTEL IWAKI

いわき

全館冷暖房
バストイレ付
駐車場完備
☎21-4433代

屋上



ビアガーデン

総合衣料品卸

箱崎商事株式会社

いわき市平字白銀町14 ☎③2813代

■紙齢1万号おめでとうございます

総合管材器機卸商

協和管機株式会社

取締役社長 中根 栄

いわき市平塩字古川70-1

TEL・②1433-5・④2693

祝日曜も午前中診療

長谷川

整形外科 医院

院長 長谷川 国男

いわき市平字五色町七八(平大橋の近く)
☎②5691(受付) ②5699(病室)

●診療科目

外科・整形外科・理学診療科

《駐車場有》

新しい時代を運ぶ
運送のデパート



磐城通運株式会社

取締役社長 北 郷 徳 助

本社・いわき市平字田町57の5

☎③3161代

医療法人
福島アフタケア協会

内 科 ・ 整形外科
胃 腸 科

大河内病院

院長 鵜 田 征 夫

内郷御蔵町折返21の1 ☎②2588代

胃腸科・内科

村上胃腸科内科

院長 村 上 勲

平字四町目26 鶴屋ビル2F ☎③0334

小学生の新聞に関する意識調査

5年生を対象に平一小

新聞の役割を高く評価

小学校の児童は新聞をどのように見ているのだろうか。その傾向を探るため、小学生の新聞に関する意識調査を、このほど行った。本報がいわき市立第一小学校五年生五十六人を対象に、新聞について、七つの設問をして回答を求めたので、「新聞は毎日の生活に役立っている」と新聞の役割を高く評価していることが、この調査で分かった。意識調査の結果については、平一小五年一組担任中山一夫教諭が、分析を担当してくれた。



中山一夫教諭と平一小5年1組のみなさん

ほとんどの児童が手にする

(問1) あなたは、新聞をみますか。

- ①毎日みる 十七名 三〇・六%
- ②ときどきみる 三十四名 六一・二%
- ③みない 五名 八・二%

スポーツ欄とテレビ番組を

(問2) あなたは、どの欄の新聞を手にしていますか。

- ①政治欄 なし
- ②社会のまぎて 十一名 二二・六%
- ③スポーツ欄 二十名 四二・二%
- ④テレビ番組 十一名 二二・六%
- ⑤その他 七名 一三・五%

情報はテレビ以外では新聞

(問3) あなたは、世の中の情報を何から知りますか。

- ①友だちから 六名
- ②先生から 六名
- ③新聞 八名 一四・三%
- ④テレビから 三十三名 六四・三%
- ⑤親から 五名

毎日の生活に役立っている

(問4) あなたは、新聞記事の内容が生活に役立っていると思いますか。

- ①役立っている 五十三名 九四・六%
- ②役立っていない 二名 三・六%

新聞記事で家族が話し合い

(問5) あなたは、新聞記事の内容が家族で話し合いのきっかけになりますか。

- ①はい 三十七名 七二・六%
- ②いいえ 七名 一三・五%

子どもとマンガのページを

(問6) あなたは、新聞にどんなページを読みますか。

- ①マンガのページ 十一名
- ②スポーツ記事 九名
- ③政治記事 六名
- ④子どもとマンガのページ 四名
- ⑤その他 二名

新聞の使命を高く評価する

(問7) 新聞は、どんな使命を担っていると思いますか。

- ①生活の便を知る 九名
- ②正しい考えを育てる 二十二名 四二・二%
- ③知識を広げる 二十四名 四六・九%
- ④人と人を結びつける 二名

SUMMER GIFT

お中元ご贈答好適品

※ベストギフトのカードのついている商品をお持ち帰りの場合は1割引させていただきます。

クロバーシャトーセット 500円

冷奴つ子セット 1,500円

ポッカセット 2,000円

カルピスセット 2,500円

サントリービール(1ダース)紙箱セット 2,780円

味の素セット 4,000円

フジコシの商品券

■フジコシの商品券はお中元に最も適した贈答品でございます。500円からいかに何でもご調整いたします。

■全店で共通にご利用いただけます。

■印紙税は、フジコシが負担いたします。

全国発送承ります。

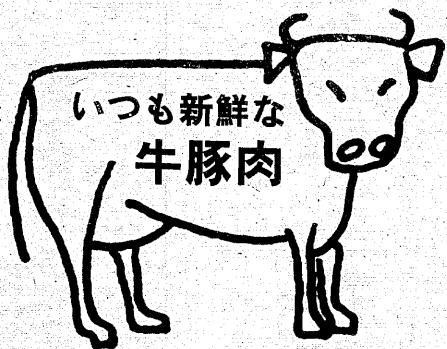
※お酒類の販売は平店・植田店のみです。

越

フジコシ

全店

☎23-1234(大代)

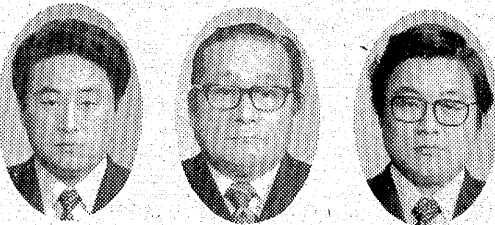


本場松阪牛特約店
牛豚肉卸問屋

株式会社 **緑屋**

代表取締役 大塚 正治

本店/平・一丁目 電話23-0185(代)
支店/平・中央通り 電話74-2794



お見合い・赤ちゃん・家族記念写真
証明写真.....3分でOK

あなたのための

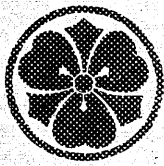
サンペイ写真館

いわき市平字大町 TEL.74-4304

住まいの総合商社

達美商工株式会社
達美通商株式会社
達美ビル株式会社

代表取締役 馬目 達幸精
専務取締役 馬目 達幸
いわき市平字五丁目一五の二
TEL. 〇一九一一



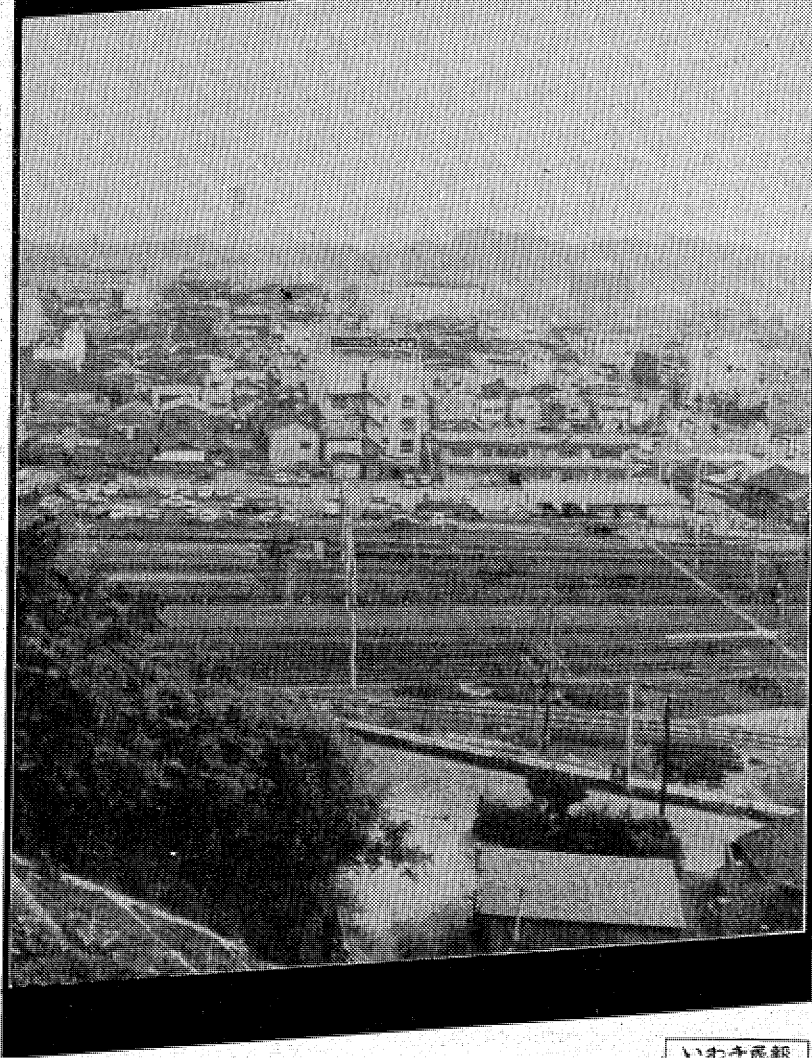
平・二丁目 電話〇二〇八・〇二〇九

利京 **谷口**

手造りの良さがみなおされるいま、明治の匠の
見事な建築の美しさを、落ちつきのある
お座敷で盃を手に、こゆっくり酒の味と
共にご賞味下さいませ。

おめでとう

いわき民報 紙齢 10,000号



いわき民報
10000

※ファミリ
衣料

お買い求めは



盛高屋

いわき市平三丁目 TEL(23)2013代



合資会社 **敷島テント**

代表社員 大島 義男
責任者 大島 毅

福島県いわき市平字正月町六六
電話(〇二四六)74-七五五-一

日除け・デザインテント
自動車シート・幌・各種シートテント



丸丹タクシー

代表取締役 藤沢 静江

いわき市平字南町 電話六二一-代

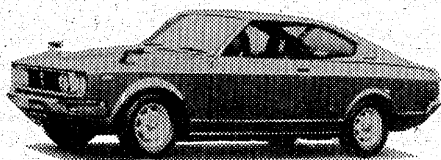
山崎地建

代表 山崎 満

福島県知事(1)第990号
いわき市内郷板宮一一一 電話三〇五九

求む! 車
高価現金買取

高く買います!!



☎ (0246) 34-4100(代)

信頼できる車のデパート



新日本自動車販売(株)

本社/いわき市平字神谷天神65の1 TEL.(0246)34-4100(代)
松葉営業所 TEL.(024025)2624/鹿島営業所 TEL.58-2867/東京 TEL.(03)960-6566



合資会社 **鈴建工業**
鈴建開発株式会社

代表 鈴木 仁弼

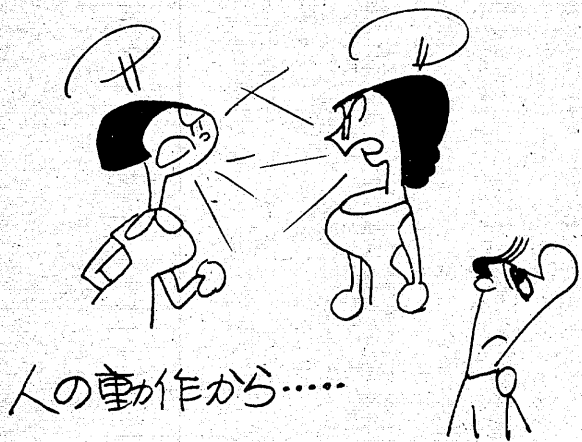
総合建設業 宅地造成販売 貸ビル業

いわき市平字新川町二四 電話四九五-六・四三八五

祝 No. 10,000

皆さんもめざしています。中島安男

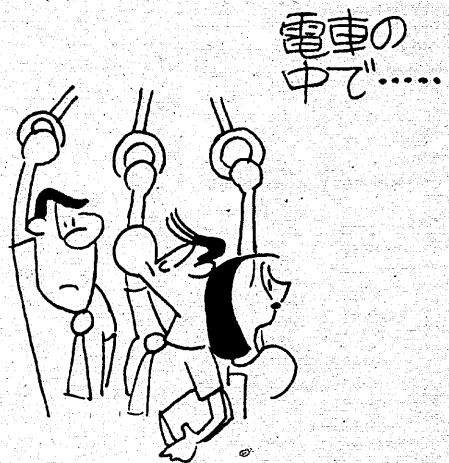
アイデアは？
ヒントは？



人の動作から.....



風呂の中で.....

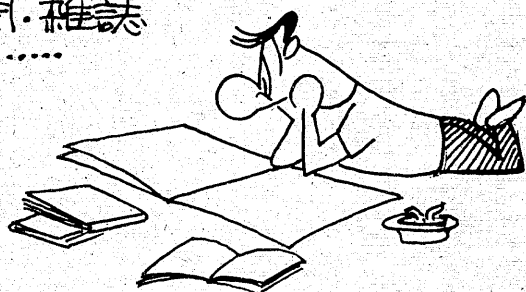


電車の中で.....



友人の
会話から.....

新聞・雑誌
から.....



いわき民報
10000

創刊 10,000 号を お祝い申し上げます

太洋グループ

理事長 山本 トクエ
会長 武田 昭一

公 認

日 車 協

効外パチンコ

ビジネスの宿

三ツ矢太洋自動車学校

太洋自動車钣金塗装工業

山徳 スーパーホール

山 徳 ホ テ ル

庶民の生きざま刻む

明治から昭和へーいわきの地方新聞の興亡は激しいものがあつた。いわき民報一万号を記念して、高木稲水氏（いわき市平字権現塚）にローカル新聞の今昔を書いて頂いた。

明治時代

わがいわき地方に新聞という名のついた刊行物が現れるのは明治六年であり、一贅新聞であつた。戊辰の役が終つて、幕府が倒れて明治元年に平澤、泉澤、湯長谷藩が平泉、泉、湯長谷県となり、翌五年にはこの三県に田村郡、石川郡の一部を合加えたものを併合して「贅新聞」いわきえん）とした。「贅新聞」は、この藩政の没落、発行した具報のようなものであつた。明治政府は政府の政策を遂行する必要上、全国的にわが地方にも新聞が生れてよい文化的土壌がやつとあることは容易なものでなかつた。従つて「いさきは一年位しかつかなかつた。明治四十年には小学校の義務年限を四年から六年に延長した。藤田シナの藤田裁縫女学校、酒井ミヨの平陽裁縫女学校が裁縫塾から学校組織に改まつたのは明治四十年であり、農村の長男の補習教育の要求を満たすため、私立の裁縫青年学校が生まれたのもこの年であり、いわき地方にも新聞が生れてよい文化的土壌がやつとあることは容易なものでなかつた。従つて「いさきは一年位しかつかなかつた。明治四十一年には、週刊いはき」といふ新聞が出る。この新聞は目黒芳次郎が経営に当たつた。福島の記者蓬田光臣が編集してゐた。この新聞も長続きしなかつたが、目黒は売炭屋で東京にも往來しておつたので、商売上新聞の利用価値というものを感じておつたらしく、その後大正八年には日本労働者新聞が発刊され、「改造」とか「解放」といふおける根拠地青島（チタオ）要するを侵略しただけで、連合軍の軍需物資の供給基地となつて異常なまでの好景氣に見舞われ、船成金なども生まれ、話題となつた。戦後は「国際間の紛争を話し合ひで解決しよう」という目的で国際連盟が出来、デモクラシー、民主主義、平和主義といふことが流行し、日本の教育方針もこれほどの富国強兵から国際協調に変わつてきた。大正八年には日本労働者新聞が発刊され、「改造」とか「解放」といふ

第1号は「磐前新聞」

明治6年、磐前県が発行

しては相当高いものであった。明治の初めには東京には新聞茶屋といふものがあり、お金をとって女性がお茶をサリヒスし、新聞を見ながら商売をなしておつた。明治十年の「警前県一覽表」にも「新聞局一、店内。同慶號社七、市在」とあるから町の中に新聞を見せる所が七ヶ所あったものと見える。

この官制の新聞は一年位で廢刊になった。福島や岩松などにはまだ民營の新聞が生まれてゐる。出来上がりつゝあったのである。「いはき」は今の新聞紙の大ききで四ページ一回発行であつた。内容はニュースといふのは論説が大部分で「発刊の辞」がページ全部、警中名物教諭田面登郎の「教育上の意見」という大論文が、二ページにわたつて載せられてゐた體であつた。吉田は旧平藩士、クリスチヤンであり、石城都會の議長ともなつたこともあり、平陽社という東京日々新聞係通り平陽社とつて、東京日々新聞係通り販売権を持つ商社を興すなど、当

十年に「石城興信日報」というのを出し、翌十一年にこれを「警城新聞」と改題して日刊とした。この「警城新聞」の實質上の社長は連沼龍輔で、編集は湯本出身の柏木哲が当たつておつた。連沼は栃木の産、後に新聞をバックに炭礦争議に関係し、その縁で市会や興會議員となり、炭礦議員として活躍した。柏木は赤井獄門のペンネームで文藝評論の文を草し、「警城新聞」の文藝欄はいわき地方の文人に親しまれておつた。

雜誌も生まれ、大正九年には八幡製鉄、大正十年には足尾銅山などで大ストライキが起きる。大正七年に土屋寛が『警城時報』というタブロイド版の「日刊新聞を出し、大正八年にこれを日報紙として出してゐるのは、このような時代の影響による」とを見逃し得てゐた。いわき地方の日刊紙としては、この土屋の『警城時報』が第一、大正十年の『警城時報』が第二陣といつことになる。土屋は平澤主、父は明治の初年に福島に出でてゐるが、同十五年に『警

湯長谷藩の御用商人であつた。加務平の「いはき新報」が出ておる。小野は小名浜の人、編集には読売の中から二高中退、『警城時報』一休後には、朝日の通信員となつた。大正九年には龍川寛の「平陽新報」、同年中には諸根樺一の「新しいはき」が出ておる。この「新しいはき」は、十五年まで発行されておる。諸根は川部の生まれ、『警城文化史』その他の郷土史関係の著述がある。高木喬が、諸根と同じ『新しいはき』という新聞をこの年

大正十二年には小泉宗雄の『警城立憲新報』（月2回）が出ておる。この新聞は昭和五年まで発行されておる。小泉は旧玉川村の生れである。横山颯の『警城日々新聞』は日刊としての年創刊、この新

大正時代

が、いわき地区は町村から遠く、
 当時日本全国に流行した自由民権
 思想の波もそれ程強烈ではなかつ
 たと見えて、明治四十年吉田礼次
 郎が「いわき」という新聞を発行
 商店が広告宣伝をする必要のない
 大正三年に始まつた第一次世界
 大戦は、大正七年ドイツの全面降

時のいわきにおける悲劇的文化人
 であった。この時代の新聞の文章
 は全部日本語で、漢字はすべて
 少がづいてゐた。今のうちに

大正時代

警察署長やつておる。「文は人城新報」と題しておる。高木は聞は横山が河北の平政局長となるな」といふ。立派な人間の書いた文章でなければ、どんなことを書いても読者は信用しない。群小ローカル紙が広告めあての発行に十年に創刊されておる。川崎は「平新報」を出している。山吉は警中十六回の卒業、警中関係



祝 紙 齡 10,000 号

阿部政右衛門

阿部商事株式会社取締役会長

根本義男

株式会社時計宝石
代表取締役社長

市井勝昭

柴崎彌

胃腸科・内科柴崎医院院長

荒井政工

株式会社みよし代表取締役

志賀柳

志賀整形外科・外科

金子圭助

株式会社松月堂取締役社長

長瀬克慶

長瀬内科胃腸科

阿部乙之

阿部商事株式会社代表取締役

川和徳

株 式 会 社 加 地 和 組 代 表 取 締 役 社 長

(順不同)

い
わ
き
地
方
新
聞
の
今
昔